



枝木・雑草類・落ち葉の出し方について 枝木は1束、雑草類は1袋、落ち葉は3袋から申し込みが必要です

市では、燃やすごみの減量・資源化の推進を目的として、家庭で剪定した枝木・雑草類・落ち葉を申込制により、無料で回収し、その全量を資源化処理しています。平成27年度の回収量は951tで、平成26年度の回収量957tに対して、6tの減少となりました。

本市は、燃やすごみの処理を多摩地域の各団体をお願いしており、施設周辺にお住まいの皆様および関係者の皆様へのご負担を軽減するため、さらに燃やすごみの減量に努めていくことが必要です。引き続き、枝木・雑草類・落ち葉の分別を徹底し、回収にご協力をお願いします。



申し込み必要

※数量制限なし(事業所を除く)
粗大・枝木受付センター
☎042-387-9829
月～金/8:30～17:15
土・日・年末年始は休み ※祝日は受付可
FAX 042-387-0444
24時間受付可

地区	回収日
中央線北側	水
中央線南側	火

※ 祝日も回収を行っています。

電子申請

東京都および都内の区市町村が共同で運営する「東京共同電子申請・届出サービス」を利用した電子申請サービスにより申請していただけます。
▶パソコン用URL <http://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo/navi/index.html>
▶携帯電話用URL <http://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo/>



申し込み締め切り 回収日の前日正午まで

※ ただし、月曜日の回収地区は、その前の金曜日正午まで

たい 堆肥などの資源としてリサイクルしています



夏休み生ごみ投入リサイクル事業の報告

学校の夏休み期間中、市内の小・中学校に設置している電動生ごみ処理機を有効利用するため、夏休み生ごみ投入リサイクル事業を実施しました。

今年度の実施校は10校で、猛暑の中、投入管理のボランティア活動にご協力いただいた方は107人、投入者延数は1,516人でした。その結果、地域の皆さんの着実な取り組みにより1か月間で約2.2tの燃やすごみを減量することができました。(下表)

今年度は、各実施校で参加者に対し、家庭での生ごみの水切り徹底の呼びかけなどを行いながら、燃やすごみの減量に取り組まれました。
ご参加いただいた皆さん、ご協力ありがとうございました。

土曜日に生ごみ投入リサイクル事業を実施

市内の小・中学校では、毎週土曜日に、学校に設置している電動生ごみ処理機を利用した生ごみ投入リサイクル事業を、市民の自主的な取り組みとして実施しています。家庭で出る生ごみを投入することができますので、ぜひ、ご利用ください。

場所	時間	その他
第一小学校	毎週土曜日 午前9時～10時	食用廃油
第三小学校		-
前原小学校		-
緑小学校	毎週土曜日 午前10時～11時	食用廃油
南小学校		
第一中学校		
第二中学校	毎週土曜日 午前9時～10時	

食品リサイクル堆肥を無料配布

投入された生ごみは、電動生ごみ処理機で乾燥処理した後、食品リサイクル堆肥に加工され、市民の皆さんに無料配布しています。

配布は、毎週金曜日午後1時～2時(祝日を除く)に、リサイクル事業所裏(中町3-19-16)で行っています。

ぜひ、家庭菜園などでお試ください。

	一小	二小	三小	四小	東小	前原小	緑小	南小	二中	南中	合計
投入日数(日)	11	11	6	14	16	11	12	11	6	10	108
投入延数(人)	174	231	61	206	108	174	215	169	126	52	1,516
投入総量(kg)	231	350	130	260	157	269	289	263	183	41	2,173

また、投入管理のボランティア活動にご協力いただける方を随時募集しています。詳しくは、お問い合わせください。
その他

- ▶ 投入できる生ごみは、食品廃棄物に限ります。ただし、貝殻など硬い物は投入できません。
- ▶ 生ごみは、十分に水切りをしてから投入してください。天日干ししたものや風で乾燥したものなども投入できます。
- ▶ 左表の場所・時間でも食品リサイクル堆肥を無料配布しています。



生ごみ処理機への投入の様子

問合せ ごみ対策課清掃係 ☎042-387-9835

平成27年度 廃棄物会計

ごみ・資源物処理経費に総額約28億8,643万円

市民1人当たり 2万4,492円
1世帯当たり 4万9,845円

平成27年度にごみ・資源物の処理にかかった経費は、総額で約28億8,643万円でした。これは、本市の平成27年度一般会計決算の約7.5%、市税収入の約12.2%になります。平成27年度のごみ・資源物の総排出量は27,006tで、1kg当たり106.9円となり、市民1人当たりで見ると2万4,492円、1世帯(平均約2.0人)当たり4万9,845円になります。

歳入総額は約4億2,618万8千円

ごみ・資源物の処理に係る歳入は、約4億2,618万8千円でした。これは、ごみ・資源物処理経費総額の約14.8%に当たります。歳入のうち、家庭系ごみ処理手数料は約2億8,099万1千円、粗大ごみ処理手数料は約3,248万円でした。

環境基金について

環境基金は、ごみ処理施設の整備や新たなごみ減量施策、環境保全事業の充実などに充当するため設置しているものです。平成27年度は環境基金に4億円が積み立てられました。内訳は、家庭系ごみ処理手数料収入約2億8,099万1千円の約25%に当たる約7,024万8千円、一般財源から約3億2,975万2千円です。

資源化処理にも多額の経費が使われます

平成27年度に資源化処理(資源物の収集、資源物・燃やさないごみ・プラスチックごみなどの資源化)にかかった経費は、約7億1,203万5千円(ごみ・資源物処理経費総額の約24.7%)でした。限りある資源を有効活用するため、資源物を分別することはもちろん大切です。しかし、その処理には多額の経費が使われます。そのことから、まずはごみになるものを元から減らす発生抑制に取り組むことが重要です。

まずは発生抑制に取り組んでください

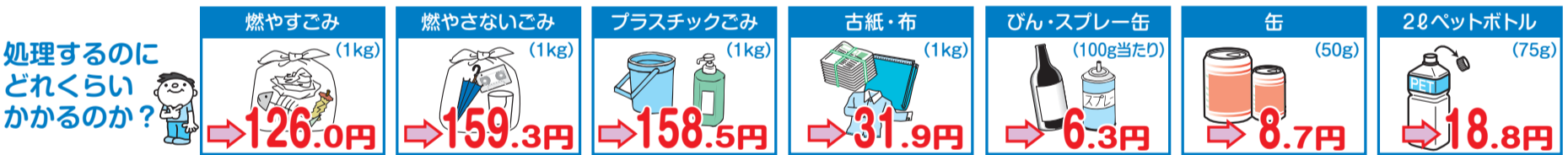
- ▶ 日常生活の中で実践できる、代表的な発生抑制の取り組みを以下に紹介しますので、最優先での取り組みをお願いします。
- ▶ 生ごみの水切りを徹底する
- ▶ マイボトル、マイバッグを持参する
- ▶ 余分なものは買わない
- ▶ 過剰包装やダイレクトメールは断る
- ▶ 食材は作りすぎない、使い切る

そして、発生抑制に取り組んだ後に、使えるものは何でも使うリユース(再利用)、分別の徹底により資源になるものを捨てずに再生利用するリサイクル(再生利用)へ取り組むことも大切です。引き続き、発生抑制を最優先としたごみの減量・資源化の推進へのご理解・ご協力をお願いします。

種別	処理経費
燃やすごみ	12万6,007円
燃やさないごみ	15万9,323円
粗大ごみ	10万7,926円
プラスチックごみ	17万5,834円
有害ごみ	15万8,492円
古紙・布	11万4,750円
古紙・布	3万1,931円
びん・スプレー缶	6万2,623円
空き缶・金属	17万3,789円
ペットボトル	25万6,555円
拠点回収	9万6,522円
剪定枝・乾燥生ごみ	11万2,412円
集団回収	1万4,988円

ごみ・資源物の処理に係る歳入内訳

家庭系ごみ処理手数料	2億8,099万1千円
事業系ごみ処理手数料	2,433万3千円
自家搬入ごみ処理手数料	2,023万5千円
粗大ごみ処理手数料	3,248万円
可燃・不燃ごみ有価物売り払い収入	5,319万円
その他	1,495万9千円

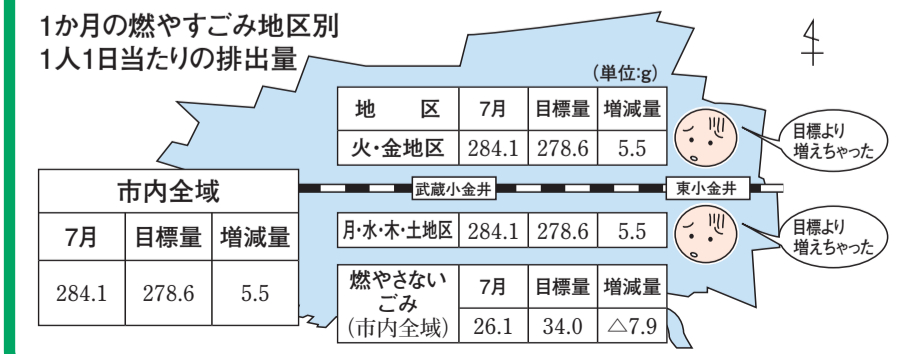


ごみ減量大作戦!!

日ごろから、ごみの減量と資源化の推進にご協力いただきましてありがとうございます。もうすぐ衣替えの季節です。衣類やシャツ、布団カバー、タオル等は資源物の「布」として、透明か半透明の袋に入れて出すことができます。また、下着や靴下(両足そろっているもの)も洗濯済みのものは、「布」として出せます。回収した「布」は、状態の良いものはリユースされ、そうでないものはリサイクルしています。

なお、雨の日は、濡れるとかびが生え資源化できなくなりますので、回収を行っています。午前8時30分直前の段階で、その日の回収をするかどうか判断しています。雨が降りそうときや判断に迷う場合は、ごみ対策課にお問い合わせいただくか、次の回に出してください。引き続き、資源化の推進にご理解・ご協力をお願いします。

【7月分のごみ排出量報告】
7月分燃やすごみ1人1日当たり排出量は、284.1gとなり、目標値(278.6g)を5.5g上回りました。



小金井市の可燃ごみは 多摩地域の多くの焼却施設で 処理していただいています

市内から発生する可燃ごみは、平成19年3月末に老朽化に伴い本市の可燃ごみを焼却処理していた二枚橋衛生組合の全焼却炉の運転を停止したことから、平成19年4月より、その全量を多摩地域の各団体の焼却施設で処理していただいています。これまで長年に渡り、ご支援をいただいた多摩地域各団体の施設周辺にお住まいの皆様ならびに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成28年度の可燃ごみ処理については、多摩川衛生組合(構成市:稲城市、狛江市、府中市、国立市)、国分寺市、昭島市および西多摩衛生組合(構成市:青梅市、福生市、羽村市、瑞穂町)からご支援をいただけており、滞りなく処理することができています。施設周辺にお住まいの皆様ならびに関係者の皆様に重ねて感謝申し上げます。

支援先	支援量
多摩川衛生組合	6,000 t
国分寺市	3,600 t
昭島市	2,000 t
西多摩衛生組合	2,000 t
合計	13,600 t